

改正

平成30年4月1日
平成30年10月1日規程第136号
平成31年4月1日規程第71号
令和3年4月1日規程第62号

東洋大学情報連携学部規程

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学学則（昭和24年4月1日施行。以下「学則」という。）に基づき、情報連携学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 情報連携学部は、学則第4条の2に基づき、学部及び各学科又は専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第1のとおり定める。

(卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 情報連携学部は、学則第4条の3に基づき、学部及び各学科又は専攻の卒業の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を、別表第2のとおり定める。

(教育課程)

第4条 情報連携学部は、学則第39条第1項第1号から第5号に基づき、各学科又は専攻の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第3のとおり定める。

(卒業に必要な単位数等)

第5条 情報連携学部は、学則第52条に基づき、各学科又は専攻の卒業に必要な単位数等を、別表第4のとおり定める。

2 情報連携学部は、卒業関係科目を履修するための条件を、別表第5のとおり定める。

(履修上限単位数)

第6条 情報連携学部は、学則第42条第3項に基づき、各学科又は専攻の卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1学期に履修科目として登録することができる単位数を次のとおり定める。

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1学期	第2学期	第3学期	第4学期	第5学期	第6学期	第7学期	第8学期以降
19単位	21単位	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位

(秋学期入学生)

第7条 秋学期入学生の教育課程、履修上限単位数及び卒業については、「情報連携学部秋学期入学生の教育研究に関する内規」に定める。

(改正)

第8条 この規程の改正は、学長が情報連携学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年規程第96号)

1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成29年度入学生については、別表第2の3の規定、第6条及び別表第3は、なお従前の例による。

附 則 (平成30年10月1日規程第136号)

この規程は、平成30年10月1日から施行する。

附 則（平成31年4月1日規程第71号）

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則（令和3年4月1日規程第62号）

- 1 この規程は、2021年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2020年度以前の入学生については、なお従前の例による。

別表第1から別表第5まで省略（2021年4月1日施行）

別表第1 教育研究上の目的（第2条関係）

情報連携学部情報連携学科

1. 人材の養成に関する目的

コンピュータ・サイエンス教育を基盤とし、チームを組んで、コンピュータを使いこなし、情報を通して連携し、素早くアイデアを形にできるような人材を養成する。
プログラミングを含むコンピュータ・サイエンスの教育をすべてのコースの基盤とし、新しいビジネスを構築できるマネージャー人材、新しい公共をシステムとして構築できるコーディネーター人材、新しい製品と新しい情報サービスを技術とデザインの両面から具体化できる人材など連携イノベーションを起こせる中核人材を養成する。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

学生に対し、以下の能力や素養を修得させることを教育目標とする。
一人でゼロから始めるのではなく、様々な人々とシステムを連携させ、情報分野の専門スキル、グローバルなコミュニケーション能力、チームで課題解決する能力を修得させる。
多様な専門と能力を持つ人々の連携によって、新しいサービスやイノベーションの実現が初めて可能となる。連携を実現する能力を持たせるため、情報連携エンジニアリング、情報連携デザイン、情報連携ビジネス、情報連携シビルシステムの4つのコースにおいて、情報科学および応用分野の基礎を学ぶとともに、コース横断的なチームで問題解決に当たるプロジェクト型の教育を重視し、「連携」の実務と効果を体験させる。プログラミング力を育成するとともにプロジェクトマネジメント力、企画力、交渉力、説得力、迅速性などの能力を修得させる。英語教育を強化して、留学生を含むチームでの英語によるプレゼンテーションやディベートを進め、国際的なコミュニケーション力を修得させる。

別表第2 卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針（第3条関係）

情報連携学部情報連携学科

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

本学部で、以下を身に付け、所定の年限・単位数を満たした者には卒業を認定し、学士の学位を授与する。

1. 社会を支える共通基盤としてのコンピュータ・サイエンスの基礎的な知識とスキル、世界各国の人々とのコミュニケーション能力を身に付けている。
2. エンジニアリング、デザイン、ビジネス、シビルシステムいずれかについて、専門知識と実践的スキルを身に付けている。
3. 自分と異なる専門性を持つ人間とチームを組み、社会における課題を発見し、その解決に自分の専門性により貢献する能力と経験を身に付けている。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

1. 1年次において、全学生を対象に、社会を支える共通基盤としてのコンピュータ・サイエンスの基礎と、世界各国の人々とのコミュニケーション能力を身に付けるための講義および演習を実施する。
2. 2年次以降において、情報通信技術による社会イノベーションの一端を担える人材となるために、学生が選択するエンジニアリング、デザイン、ビジネス、シビルシステムいずれかの専門分野について、高度な知識を身に付けるための講義と、実践的スキルを身に付けるための演習を実施する。
3. チームで問題解決に当たるプロジェクト型の実習を重視する。特に、3年次においては、自分と異なる専門性をもつ人間との連携がもつ可能性を実践的に学ぶために、コース横断で長期にわたるスタートアップ型の実習を実施する。
4. 4年次においては、身に付けた専門分野における研究の最先端を知るために、教員の研究室において卒業研究を実施する。
5. 在学期間を通じて、本学の伝統である哲学等を基盤にもつ様々な教養を身に付けることができるように、基盤教育科目を実施する。

3. 入学者の受入れに関する方針

1. 情報通信技術が社会を変えていくこと、ネット社会で生活することに共感し、そのことに自身に関わることに興味と意欲を持つ人材を求める。
2. 様々な価値観や興味、生まれ持った国籍など、社会にある多様性を認め、他者との関わりの中で、自分の存在価値を認め、また高められる人材を求める。
3. 失敗を恐れず、何にでも前向きに何回でも取り組める人材を求める。
4. 入学後の学修に必要な、基礎学力としての数学の学力と論理的思考力を有している人材を求める。

別表第3 教育課程（第4条関係）

(1) 情報連携学部情報連携学科 基盤教育科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
哲学・思想	選択必修	井上円了と世界哲学	1～4	2	
哲学・思想	選択必修	哲学概論	1～4	2	
哲学・思想	選択必修	コミュニケーションの哲学	1～4	2	
哲学・思想	選択必修	世界の歴史Ⅰ	1～4	2	
哲学・思想	選択必修	世界の歴史Ⅱ	1～4	2	
哲学・思想	選択必修	情報と法	1～4	2	
哲学・思想	選択必修	芸術学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	ミクロ経済学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	マクロ経済学	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	国際経済Ⅰ（貿易・開発）	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	国際経済Ⅱ（金融・通貨）	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	金融論Ⅰ（市場・構造）	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	金融論Ⅱ（企業金融・システム）	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	会計システム	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	まちづくり論	1～4	2	
学問の基礎（社会科学）	選択必修	環境科学と政策	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	異文化理解概論	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	留学のすすめ	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	日本事情A	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	日本事情B	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	中期海外学修	1～4	2	
国際人の形成（グローバル社会の実際）	選択	短期海外学修	1～4	1	
キャリア・市民形成	選択	プレゼンテーションおよびコミュニケーション学	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	キャリアデベロップメント論A	1～4	2	
キャリア・市民形成	選択	キャリアデベロップメント論B	1～4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅠA	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅠB	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅡA	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅡB	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅢA	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅢB	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅣA	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅣB	1～4	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義Ⅰ	1～4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義ⅡA	1～4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義ⅡB	1～4	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学演習Ⅰ	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合A	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合B	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合C	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合D	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合E	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合F	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合G	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合H	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合I	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合J	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合K	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合L	1～4	2	
総合・学際	選択	全学総合M	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Pre-Study Abroad: Listening/Speaking	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Pre-Study Abroad: Writing	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Business English Communication	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese for Beginners: Theory	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese for Beginners: Practice	1～4	2	

国際人の形成（語学）	選択	Integrated Japanese I Theory	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Integrated Japanese I Practice	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Integrated Japanese II Theory	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Integrated Japanese II Practice	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Integrated Japanese III Theory	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Integrated Japanese III Practice	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Reading I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Reading II	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Reading III	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Writing I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Writing II	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Writing III	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Project Work I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Project Work II	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Project Work III	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Listening I	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Listening II	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Listening III	1～4	1	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Culture and Society A	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Japanese Culture and Society B	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Introduction to Japanology A	1～4	2	
国際人の形成（語学）	選択	Introduction to Japanology B	1～4	2	

(2) 情報連携学部情報連携学科 情報連携学基盤科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
基盤科目	必修	情報連携学概論	1	2	
基盤科目	選択必修	情報連携のための数学A	1～2	2	
基盤科目	選択必修	情報連携のための数学B	1～2	2	
基盤科目	選択必修	情報連携のための確率・統計学A	1～2	2	
基盤科目	選択必修	情報連携のための確率・統計学B	1～2	2	
基盤科目	選択必修	情報連携のための物理学A	1～2	2	
基盤科目	選択必修	情報連携のための物理学B	1～2	2	
分野別科目	選択必修	情報連携ビジネス概論	1～2	1	
分野別科目	選択必修	情報連携シビルシステム概論	1～2	1	
分野別科目	選択必修	情報連携エンジニアリング概論	1～2	1	
分野別科目	選択必修	情報連携デザイン概論	1～2	1	

(3) 情報連携学部情報連携学科 コミュニケーション科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
必修コミュニケーション科目	必修	リスニング・スピーキング演習Ⅰ	1	4	
必修コミュニケーション科目	必修	リスニング・スピーキング演習Ⅱ	1	4	
必修コミュニケーション科目	必修	リーディング・ライティング演習Ⅰ	1	2	
必修コミュニケーション科目	必修	リーディング・ライティング演習Ⅱ	1	2	
選択コミュニケーション科目	選択	リスニング・スピーキング演習Ⅲ	2	2	
選択コミュニケーション科目	選択	リスニング・スピーキング演習Ⅳ	2	2	
選択コミュニケーション科目	選択	リーディング・ライティング演習Ⅲ	2	2	
選択コミュニケーション科目	選択	リーディング・ライティング演習Ⅳ	2	2	

(4) 情報連携学部情報連携学科 専門科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
情報連携基礎科目	必修	コンピュータ・サイエンス概論Ⅰ	1	4	
情報連携基礎科目	必修	コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ	1	4	
情報連携基礎科目	必修	コンピュータ社会概論	1	2	
情報連携基礎科目	必修	コンピュータ・サイエンス概論Ⅲ	2	2	
情報連携基礎科目	必修	コンピュータ・サイエンス概論Ⅳ	2	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	会計論Ⅰ	2	2	情報連携ビジネス コースのみ必修 他コースでは選択
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	経営論Ⅰ	2	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	統計とデータ分析	2	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	会計論Ⅱ	2	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	経営論Ⅱ	3	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	データ・マイニング論	3	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	人工知能	3	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	ディープ・ラーニング	3	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	知的財産権論	3	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択必修	ビッグデータ解析	3	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択	ビジネス・インキュベーション論Ⅰ	3～4	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択	ビジネス・インキュベーション論Ⅱ	3～4	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択	ビジネス・インキュベーション論Ⅲ	3～4	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択	ビジネス・インキュベーション論Ⅳ	3～4	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択	データ・サイエンス論Ⅰ	3～4	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択	データ・サイエンス論Ⅱ	3～4	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択	データ・サイエンス論Ⅲ	3～4	2	
情報連携応用科目 (ビジネス分野)	選択	データ・サイエンス論Ⅳ	3～4	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	建築デザイン	2	2	情報連携シビルシ ステムコースのみ 必修 他コースでは選択
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	インフラマネジメント	2	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	産業エコロジー	2	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	都市・地域マネジメント	2	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	地理情報システム	3	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	社会資本経営	3	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	ユビキタスネットワークと生活	3	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	ライフラインマネジメント	3	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	交通と情報マネジメント	3	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択必修	持続可能社会と情報マネジメント	3	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択	インフラ・サービス論Ⅰ	3～4	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択	インフラ・サービス論Ⅱ	3～4	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択	インフラ・サービス論Ⅲ	3～4	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択	インフラ・サービス論Ⅳ	3～4	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択	クオリティ・オブ・ライフ論Ⅰ	3～4	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択	クオリティ・オブ・ライフ論Ⅱ	3～4	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択	クオリティ・オブ・ライフ論Ⅲ	3～4	2	
情報連携応用科目 (シビルシステム分野)	選択	クオリティ・オブ・ライフ論Ⅳ	3～4	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	コンピュータ・アーキテクチャ	2	2	情報連携エンジニ アリングコースの み必修 他コースでは選択
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	プログラミング言語Ⅰ	2	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	情報数学	2	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	オペレーティング・システム	2	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	コンピュータ・ネットワーク	3	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	ソフトウェア・エンジニアリング	3	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	アルゴリズムとデータ構造	3	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	プログラミング言語Ⅱ	3	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	データベース	3	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択必修	コンピュータ・システム	3	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択	コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅰ	3～4	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択	コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅱ	3～4	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択	コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅲ	3～4	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択	コンピュータ・アーキテクチャ論Ⅳ	3～4	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択	コンピュータ・ネットワーク論Ⅰ	3～4	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択	コンピュータ・ネットワーク論Ⅱ	3～4	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択	コンピュータ・ネットワーク論Ⅲ	3～4	2	
情報連携応用科目 (エンジニアリング分野)	選択	コンピュータ・ネットワーク論Ⅳ	3～4	2	

情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	デザイン理論 I	2	2	情報連携デザイン コースのみ必修 他コースでは選択
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	ユーザ・エクスペリエンス・デザイン I	2	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	コンピュータ支援設計	2	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	ユーザ・エクスペリエンス・デザイン II	2	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	WEBデザイン I	3	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	ユーザ・エクスペリエンス評価	3	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	デザイン理論 II	3	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	WEBデザイン II	3	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	コンピュータ・グラフィクス	3	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択必修	工業デザイン	3	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択	デジタル・デザイン論 I	3～4	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択	デジタル・デザイン論 II	3～4	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択	デジタル・デザイン論 III	3～4	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択	デジタル・デザイン論 IV	3～4	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択	ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論 I	3～4	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択	ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論 II	3～4	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択	ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論 III	3～4	2	
情報連携応用科目 (デザイン分野)	選択	ユーザ・エクスペリエンス・デザイン論 IV	3～4	2	

(5) 情報連携学部情報連携学科 演習・実習科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
情報連携基礎演習	必修	情報連携基礎演習 I	1	2	
情報連携基礎演習	必修	情報連携基礎演習 II	1	2	
情報連携基礎演習	必修	情報連携基礎演習 III	2	2	
情報連携基礎演習	必修	情報連携基礎演習 IV	2	2	
情報連携応用演習 (ビジネス演習)	選択必修	情報連携ビジネス演習 I A	2	2	情報連携ビジネス コースのみ必修 他コースでは選択
情報連携応用演習 (ビジネス演習)	選択必修	情報連携ビジネス演習 I B	2	2	
情報連携応用演習 (ビジネス演習)	選択必修	情報連携ビジネス演習 II A	3	2	
情報連携応用演習 (ビジネス演習)	選択必修	情報連携ビジネス演習 II B	3	2	
情報連携応用演習 (ビジネス演習)	選択必修	情報連携ビジネス演習 III A	3	2	
情報連携応用演習 (ビジネス演習)	選択必修	情報連携ビジネス演習 III B	3	2	
情報連携応用演習 (シビルシステム演習)	選択必修	情報連携シビルシステム演習 I A	2	2	情報連携シビルシ ステムコースのみ 必修 他コースでは選択
情報連携応用演習 (シビルシステム演習)	選択必修	情報連携シビルシステム演習 I B	2	2	
情報連携応用演習 (シビルシステム演習)	選択必修	情報連携シビルシステム演習 II A	3	2	
情報連携応用演習 (シビルシステム演習)	選択必修	情報連携シビルシステム演習 II B	3	2	
情報連携応用演習 (シビルシステム演習)	選択必修	情報連携シビルシステム演習 III A	3	2	
情報連携応用演習 (シビルシステム演習)	選択必修	情報連携シビルシステム演習 III B	3	2	
情報連携応用演習 (エンジニアリング演習)	選択必修	情報連携エンジニアリング演習 I A	2	2	情報連携エンジニ アリングコースの み必修 他コースでは選択
情報連携応用演習 (エンジニアリング演習)	選択必修	情報連携エンジニアリング演習 I B	2	2	
情報連携応用演習 (エンジニアリング演習)	選択必修	情報連携エンジニアリング演習 II A	3	2	
情報連携応用演習 (エンジニアリング演習)	選択必修	情報連携エンジニアリング演習 II B	3	2	
情報連携応用演習 (エンジニアリング演習)	選択必修	情報連携エンジニアリング演習 III A	3	2	
情報連携応用演習 (エンジニアリング演習)	選択必修	情報連携エンジニアリング演習 III B	3	2	
情報連携応用演習 (デザイン演習)	選択必修	情報連携デザイン演習 I A	2	2	情報連携デザイン コースのみ必修 他コースでは選択
情報連携応用演習 (デザイン演習)	選択必修	情報連携デザイン演習 I B	2	2	
情報連携応用演習 (デザイン演習)	選択必修	情報連携デザイン演習 II A	3	2	
情報連携応用演習 (デザイン演習)	選択必修	情報連携デザイン演習 II B	3	2	
情報連携応用演習 (デザイン演習)	選択必修	情報連携デザイン演習 III A	3	2	
情報連携応用演習 (デザイン演習)	選択必修	情報連携デザイン演習 III B	3	2	
情報連携実習	必修	情報連携実習 I A	1	1	
情報連携実習	必修	情報連携実習 I B	1	1	
情報連携実習	必修	情報連携実習 II A	2	1	
情報連携実習	必修	情報連携実習 II B	2	1	
情報連携実習	必修	情報連携実習 III A	3	2	
情報連携実習	必修	情報連携実習 III B	3	2	
情報連携実習	必修	情報連携実習 IV A	4	2	
情報連携実習	必修	情報連携実習 IV B	4	2	
卒業論文	必修	卒業研究	4	4	

別表第4 卒業に必要な単位等 (第5条第1項関係)

学科	単位数
情報連携学部情報連携学科	1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。 2) 基盤教育科目は、哲学・思想から6単位以上、学問の基礎(社会科学)から4単位以上を修得し、情報連携学基盤科目は、必修科目2単位を含む8単位以上を修得すること。 3) コミュニケーション科目は、必修科目を含み12単位以上を修得すること。 4) 専門科目のうち情報連携基礎科目は、必修科目14単位を修得すること。 5) 専門科目のうち情報連携応用科目は、所属するコースの必修科目20単位を含む36単位以上を修得すること。 6) 演習・実習科目のうち情報連携基礎演習は、必修科目8単位を修得すること。 7) 演習・実習科目のうち情報連携応用演習は、所属するコースの必修科目を含む12単位以上を修得すること。 8) 演習・実習科目のうち情報連携実習及び卒業論文は、必修科目16単位を修得すること。

別表第5 卒業関係科目の履修に必要な単位等 (第5条第2項関係)

卒業研究を履修するためには、下記を満たさなければならない。

学科	単位数
情報連携学部情報連携学科	1) 卒業要件となる科目で100単位以上を修得すること。 2) 情報連携学基盤科目は、必修科目2単位を含む8単位以上を修得すること。 3) コミュニケーション科目は、必修科目を含み12単位以上を修得すること。 4) 専門科目のうち情報連携基礎科目は、必修科目14単位を修得すること。 5) 演習・実習科目のうち情報連携基礎演習は、必修科目8単位を修得すること。 6) 専門科目のうち情報連携応用科目と演習・実習科目のうち情報連携応用演習について、所属するコースの必修科目を24単位以上を修得すること。 7) 演習・実習科目のうち情報連携実習は、必修科目8単位を修得すること。